

要 望 書

(鉄 道 事 業 者)

平成 2 7 年度

神 奈 川 県 鉄 道 輸 送 力 増 強 促 進 会 議

日ごろから、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議の活動につきましては、格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

これまで、線増、増発、駅舎改良等、本促進会議の要望が着実に実現してまいりましたことは、ひとえに貴社のご努力の賜であり、神奈川県をめざす活力と魅力ある県土の形成が進められたことに、深く感謝しております。

しかし、このような貴社のご努力にもかかわらず、通勤・通学時の混雑率は依然として高く、混雑緩和を求める声は数多く寄せられております。

また、相互直通運行による鉄道ネットワークのシームレス化が進む一方で、事故等による遅延の拡大が生じております。さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定されるなど、鉄道を取り巻く環境が大きく変化している中で、利用者の利便性、速達性、快適性及び安全性への期待はますます高まってきているところです。

このような事情をご賢察いただきまして、次頁からの要望事項につきまして、さらにご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また、県内の一部地域で人口が減少傾向となる一方、発生が懸念される大規模地震や頻発する大規模な風水害への対策が求められるなど、鉄道事業を取り巻く課題は多いと思われませんが、今後とも輸送の安全確保に努め、利用者の信頼に添えていただきますようお願い申し上げます。

平成27年11月

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議

会 長 神奈川県知事 黒 岩 祐 治